



神奈鍼会報

第 141 号

平成 25 年 11 月 20 日発行

発行人 社団法人 神奈川県鍼灸マッサージ師会 会長 伊勢山 竹 雄 編集者 知久 京子

平成 25 年度 第 1 回神奈鍼学術講習会開催のご案内

- 日 時：平成 25 年 12 月 1 日（日） 12：30 開場
- 会 場：横浜市技能文化会館 8 階大会議室
横浜市中区万代町 2 丁目 4 番地 7
〈交通〉 JR 根岸線 関内駅南口徒歩 5 分
横浜市営地下鉄 1 号線 伊勢佐木長者町駅徒歩 3 分

- 【第 1 部】 13：00～16：00 教養 1・臨床 3 単位
演 題：「新経絡医学の難治性疾患治療への展望」
講 師：日本新経絡医学会長 友和クリニック院長 宇土 博 先生
- 【第 2 部】 16：15～17：00 臨床 1 単位
演 題：「地域健康づくり指導者研修会②」 参入メリットを聴いてみよう
講 師：神奈鍼介護予防研究委員長 林 秀卓 先生
- 【第 3 部】 17：00～17：45 臨床 1 単位
演 題：「スポーツ講習会①」
講 師：帝京大学准教授 朝日山 一男 先生

今年度の第 1 回講習会は、新経絡医学会長の宇土先生をお迎え致します。理論と実技がある、即臨床に役立つ講義内容となっておりますので奮ってご参加願います。

受講料は神奈鍼・全鍼の会員 1,000 円、準会員・学生 500 円、非会員は 2,000 円となりますのでご了承願います。より良い講習会となるよう努力して参りますので、講習内容や新たな企画案があれば学術部へお知らせ願います。

*** 参加者は受講カードをご持参願います ***

問い合わせ先：神奈鍼学術部長 小川 070-5074-6593 まで

* 新経絡治療の特徴 *

新経絡治療は 1) エネルギー医学の一つであり経絡のエネルギーの詰まりにより疾病が発生しその詰まりを治すことにより改善する。2) 手足の対応穴を使用して治療する。3) 陰陽の経絡をつなぐ絡穴を使用して治療する。4) 陰陽五行の曾祖母・祖母・母の経絡を使用して治療する。5) 臓腑・表裏・同名・補強および本経(刺絡)を使用して治療することを特徴としている。

治療効果の特徴としては、補強治療に強く、神経や血管の補強・再生を通して
①CRPS、PHN、脊柱管狭窄症などの難治性の疼痛に著効
②学習障害、うつ病、自律神経失調、パニック障害、痴呆など中枢性疾患に著効
③耳鳴り・難聴・アトピー性皮膚炎・喘息・リウマチ改善・癌性疼痛の緩和など多くの慢性難病に効果がある。今後統合医療の内容を豊富化することができる治療である。

[宇土博先生の抄録より抜粋]

第2回 神奈鍼学術講習会のお知らせ

1. 日 時 : 平成26年2月9日 (日) 13:00~16:30
2. 会 場 : 神奈川県鎌倉市御成町20番 JR鎌倉駅から徒歩5分
鎌倉市福祉センター
3. 内 容
【第1部】 13:00~13:45
演 題: 地域健康づくり指導者研修会③「介護予防事業の参入計画を作ってみよう」
講 師: 神奈鍼介護予防委員長 林 秀卓 先生

【第2部】 14:00~14:45
演 題: スポーツ講習会②
講 師: 帝京大学准教授 朝日山一男先生

【第3部】 15:00~16:30
演 題: 日本型統合医療の理念と実践」～鍼灸マッサージ師の役割～
講 師: 日本統合医療センター 代表理事 織田 聡 先生

〈今回のトピックス〉

統合医療とは、患者さんの愁訴や疾患に対して、適切な治療法や予防法を考えると、標準的治療である、西洋医学の枠を超えて、様々な補完代替医療を含めた選択枝を提示し、患者さんの価値感やあらゆる背景を勘案しながら生き方をコーディネートする医療です。このような統合医療を実現するには医療機関と治療院とが連携することが必須です。今回は、織田先生が独自に開発したタブレット端末を使い、新たな連携システムを提案していただきます。日本の医療が新たなステージに進化していくことを実感していただけたらと思いますので、奮ってご参加願います。

*** 会員の皆様は受講カードを持参願います。**

青年女性部主催

経営座談会・勉強会 のお知らせ

- 日 時：平成 25 年 12 月 21 日（土） 14:00～17:00
- 場 所：横浜市都筑区中川中央 1-38-11 ヴィラノルド 1F-A 『デイサービスひまわり』
横浜市営地下鉄センター南駅徒歩 3 分
- 内 容：他業種からの学び
儲かるには儲かる為の戦略がある。儲からないのは儲からない理由がある。
戦略の立て方
意見交換会（座談会）
職人型ビジネスから抜け出すための、ひまわり治療院の取り組み

* 参加ご希望のかたは同封の申込用紙にご記入の上神奈鍼事務所にご連絡ください。

台風のエネルギーを私たちの熱気にかえて

—第 66 回 全鍼師会関東甲越ブロック協議会開催—

9 月 15、16 日に開催された協議会は、モーレツな台風の中 交通機関もストップしてしまい担当県として本当に心配で祈るような気持ちで迎えましたが、出席者は次々と到着してくださり、組織力と熱気を感じながら開催となりました。

国会議員の皆様をはじめ多くの来賓の方々も出席いただいた開会式のあと、一般県民の皆様にも参加していただき、県民公開講座「命のエネルギーを高める癒しの力、生命力」のテーマで帯津三敬病院名誉院長、帯津良一先生に講演していただきました。先生は著書も多く、多岐にわたって活躍されておられますのでご存じない方はいらっしゃると思います。先生はホリスティック医学の第一人者で学会の理事長でもいらっしゃいます。ホリスティック (holistic) という考え方は、部分ではなく全体を対象として考えるもので、ホリスティック医学は心と体を総合的に対象として考える医学理論で、私たちの東洋医学と通じる場所があります。素敵なユーモアを交えた講演は楽しく有意義な講演でした。

その後のプログラム、シンポジウム「業界の将来ビジョンと経営」と翌日に開催された将来ビジョンをテーマとした「県別将来ビジョン」ワークショップは協議会としてははじめての試みでしたが出席者はみんな業界の、そして私たちの将来のビジョンを真剣に考え取り組みました。

協議会が終了したときも多くの交通機関はストップしており、帰りの道筋が心配でしたが、そんなことを吹き飛ばす出席者の熱気に感動しました。

来年は 7 月 20、21 日に新潟市で開催されます。みんなで出席しませんか。きっと何かを感じて持ち帰ることができると思います。

副会長 組織部長 小沢 繁之

関東甲越ブロック協議会 神奈川大会 報告

帯津良一先生 「命のエネルギーを高める癒しの力・ 生命力」のご講演を拝聴して



帯津先生は日本の最高学府の医療を習得され、外科医として当初は患者の心理をケアせず良い手術を心掛けた。その後癌治療に対し切除手術、化学療法、放射線治療等の西洋医療の不足を補うため、北京での癌治療に学び、東洋医学の分野である漢方・鍼灸・太極拳（気功）・呼吸法・食養生等を取り入れ、精神療法を加味しこれらを統合した病院を川越市に設立された。

人は何故治るのか？人を全体でとらえ、体は西洋医が診・心は心理療法・命は代替医療である東洋医療が扱う。これらを統合し、生命場のエネルギー低下を支え、免疫力の向上＝自然治癒力を高め治癒に導く。気功を通じ心の変化を促し、明るくて前向きな心を維持する。人の本性は悲しみである。この悲しみには、人を癒す力がある。希望の種⇒希望の芽を出す⇒ときめきが自然治癒力を高める。

病に対し医療人は戦友の立場で患者に寄り添い、祈り、気を込めて支える。

死に対する不安を和らげる。死に近い場に立つ。最後の晩餐の想定。死の予感（自己満足満ちた死）ラストシーン（先生の理想の死：病院の廊下で前に行く看護師が、

異変に気づき、駆け寄って抱かれ、彼女の胸の谷間の中で息を引き取る）

ユーモア溢れる語り口で、病の克服の分析、臨終への覚悟、医療人のあるべき姿等含蓄のあるご講義でした。

シンポジウム 「業界の将来ビジョンについて」

〈業界の将来ビジョンを示す クレド（普遍的理念）について〉

朝日山一男先生

クレドとグランドデザインの必要性

リッツ・カールトン・ホテルの理念・信念（クレド）に基づく経営者から現場の従業員に至るまで顧客サービスの提供のマニュアル化を参考に、当業界の全体構想（グランドデザイン）の構築の必要性を提案された。

〈かかりつけ鍼灸マッサージ師の 役割について〉

小川眞悟先生

治療（心身の病）・予防（心身バランス、未病治）・連携（地域の医師、多職種）・相談（健康管理、医療サービス等の説明）の四項目を兼ね備えた認定資格の取得の必要性の提案

現行の地域健康づくり指導者・認定スポーツ鍼灸マッサージ師・認定訪問マッサージ師同様に創設し広報活動を行う。

〈地域医療における 鍼灸マッサージ師の役割〉

長嶺芳文先生

介護保険制度の定着（機能訓練指導）と改正＝介護予防（運動機能向上指導）の導入

医療も疾病治療から予防医学へ、東洋医

学は元来、未病治（蔵病にならぬうち、経病の段階で治してしまおうとの考え方）とあるように予防医学を得意とする立場にある。介護予防制度中の地域支援事業は各市町村が独自のメニューを設定でき、鍼灸を取り入れる自治体もある。健康長寿国日本を掲げ、高齢化社会の地域包括ケアシステムの推進の中で、多職種と連携しその役割を果たす（痛みの軽減、認知証予防、エクササイズガイド）重要性を強調された。

〈これからの経営の在り方・

経営方針・事業計画〉

大淵 真先生

当業界の業種としては大規模に事業展開を図っておられる大淵先生は起業して14期を迎えられた。理念経営に基づき、年々事業を伸ばしてゆくための計画、部門別に経営計画発表会を行っている。具体的数字（億単位）を計上し、計画・実行・見直し、人材の育成、時代の変化に対応し新たな事業創設を図るべく、自ら仕事を創造する自創経営を推奨される。若き事業経営の開拓者として目が離せない存在である。

〈東日本大震災発生から2年半が経過して〉

廣瀬 徹先生

阪神大震災のボランティア活動が諸事情でできず、悔いが残る経験を踏まえて、活動すべての日程を意欲的に参加された体験談を話された（柔整師として2回、鍼灸師として13回）。

経過とともに各種事情の変化が報告された。被災者からボランティアスタッフ、急性症状から各種主訴（頸・肩・腰）、広域活動から特定の地域へ等。延施術者数154名、

被施術者数929人。今後の活動にも協力の呼びかけをされた。

このすべてに参加された行動力には、頭の下がる思いで、ボランティアの鏡と称しても賛辞する言葉が足らぬ思いをした。ご苦労様です。

ワークショップ 「県別将来ビジョン」について

テーマ

これからの師会（会を発展させるためには）

県別、各テーブルに分かれ進行・司会者（ファシリテーター）、記録係、発表者を決め、各人のポストイットに上がった内容を分類し模造紙にまとめ記録し発表する形式で、90分の時間が与えられた。

その後、テーブルごとに発表者の報告があった。

要望・希望・提案等多岐にわたる内容であった。集計して後日報告予定と思われます。将来に向けて、積極的に思考する動機づけになることが望まれます。

報告：学術委員 谷口 修一



学術大会 第40回記念大会 報告

平成25年6月30日(日) 於：川崎市医師会館

第1部

演題：「トリガーポイント鍼療法」

講師：明治国際医療大学院

准教授 伊藤 和憲 先生

*トリガーポイントとは？

筋・筋膜疼痛症候群に特徴的な圧痛部位で、索状硬結上に限局して出現し、同部位の圧迫により典型的な関連痛や症状の再現が起こる。

＝トリガーポイントを探すには、索状硬結を探し、圧迫したときに、普段感じている痛みが出現するかを確認する。

*トリガーポイントの触診は？

筋・腱移行部か、筋膜部分を中心に触診する。索状硬結を探すように心掛ける。

*トリガーポイントの治療の流れは？

1. 筋肉の痛みを判断する。
2. 痛みの原因となる筋肉の触診。
3. 索状硬結を探す。
4. 圧痛部位を斜めから強く圧迫する。
5. トリガーポイントであれば、普段感じている痛みが再現される。
6. トリガーポイントに鍼を刺す。

*治療効果の維持に必要な事とは？

患者さんが家庭でどのように過ごすかを治療者がマネジメントする必要がある。

1. セルフケア（認知行動療法、運動、呼吸法、ストレッチ、筋トレなど）
2. セルフマネジメント（睡眠、医師との関わり方、友達、家族との関わり方）

*慢性痛の治療のポイントとは？

患者さんがやる気を出して、治療に積極的に参加する事が大切。その気持ちをサポートして、痛みの管理として、セルフケアやセルフマネジメント方法を出来るだけ

多く患者さんに伝えていく。

感想

今回の伊藤先生の講義は、全般で説明を、後半で実技が行われました。説明もとてもわかりやすく、実技では、前面の大きいロールスクリーンに、実技の様子が着席した状態でも、非常に見やすく、理解しやすかったです。

第2部

会員研究発表 *講評：伊藤 和憲 先生

*第1ブロック

迫田 優香 先生（川崎師会）

演題：「訪問マッサージ受療者の実態と今後の取組について」

*第2ブロック

中 博 先生（浜鍼師会）

演題：「姿勢改善の簡易体操法の紹介」

*第3ブロック

渡辺 大芳 先生（鎌倉逗葉師会）

演題：「ターミナルケアに携わって
～基礎知識と症例報告～」

*第4ブロック

西村 博志 先生（藤沢師会）

演題：アンケート報告
「鍼に対するイメージ調査」

*第5ブロック

荒川 隆 先生（小田原師会）

演題：「スポーツ選手のコンディショニングとコーチングについて」

*第6ブロック

稲葉 俊顕 先生（秦野師会）

演題：「スポーツ外傷の鍼灸治療」



今回は訪問リハビリから、ターミナルケア、スポーツ外傷、選手のコンディショニングまで、聞き応えのある、中身の濃い発表で、とても勉強になりました。と同時に、鍼灸マッサージ師が色々な分野や様々な場面で活躍出来る事を再確認し、この仕事の可能性の幅の広さに、感動しました。

第3部

地域健康づくり指導者研修会

「介護予防を体験してみよう！」

講師：林 秀卓 先生

林先生が、指導者になって、参加された先生方が、実際にトレーニングを行いました。1. じゃんけんゲーム 2. 足の組み替えゲーム 3. トントンパーゲーム 4. 新聞紙ゲームを、2人一組で楽しみながら、瞬発力、敏捷性、反応性、協調性などの様々なトレーニングを行い、皆さん声をあげながら、楽しそうに、けれど必死の形相で頑張られていました。私も実際「何でこんな簡単な事が出来ないんだろう」とビックリしながら、でもとても楽しかったです。

報告：川崎師会 宍戸 真弓

※本学術大会で、神奈川県から全鍼東洋療法推進大会に推薦された荒川隆先生の抄録を掲載します。

スポーツ選手のコンディショニングとコーチングについて

第5ブロック 荒川 隆

【はじめに】

昨年、スポーツ界において大変悲しい事件が起きています。監督、コーチによる体罰や言葉の暴力です。もう一度、選手側に立った指導を見直す時が来たのではないのでしょうか？そして、私達鍼灸マッサージ師も治療院内だけの施術だけでなく、積極的にそのスポーツ現場や選手の立場、心の叫び、気持ちを聞く時来たのです。一つの例を挙げ、私なりの成果と考察を入れながら、発表致します。

【対象】

患者情報：N. Yちゃん 女 11歳（小学5年）身長143cm 体重31kg

病名：S字側弯症

自覚症状：痛みこそないが、体がだるく、背中が張っている感じが取れない。そして、マラソンを小学一年から始めているが、真っ直ぐ走れない。スピードも出ない。走るのを辞めたい。

【施術】

まずNちゃんの聞き取りから始めました。小学一年からマラソン教室に通っていて、それまでは、市内のマラソン大会を一年から四年まで優勝してきたが、ここに来て思う様に走れない。マラソンのコーチにも、ひどく怒られ、教室にも行っていないとのこと。母親はもう一度頑張ってもらいたい。しかし、本人は辞めたい。来院は、一月で練習も一か月休んでいるとのこと。うつ伏せの状態になってもらい、側弯の度合いを見てポイントになる背骨の位置をカルテに記し、足の長さを見ました。そして、全身の軽いスポーツマッサージをしました。

特に背中側の側弯を取る様に施術、その後脚に移り、すぐに左右の筋力差に気づき、骨盤内の筋力の弛みを作り脚の長さを、調整しました。施術は月二回にして、後はトレーニング開始。

【コーチング】

Q. マラソン教室ではどういう練習をして
いたか？

A. 周回コースで、3kmを全力疾走。遅いと怒鳴られる。(叱咤激励か?)

日本の道路は側溝に雨水が入る様に出来ているので、周回コースでは、体に偏りが出来てしまいます。そこで、私自身がいっしょに往復コースを走りました。ただし、全力ではなく、LSDで6km～8km走りました。長く、ゆっくり、距離を踏ませました。それにより、Nちゃんとコミュニケーションがとれ、長い距離に対する恐怖感も改善出来、フォームの矯正も出来ました。基本動作のドリルや体も硬いので、柔軟体操も入れました。これを、週二回～三回トレーニング、三ヶ月間施術をしました。(現在も継続中)



【成果と考察】

施術の成果として、S字側弯症も大幅に改善され、正しいフォームで走れて来たので、体の違和感もなくなってきました。また、何よりNちゃんが楽しく走れる様になったのが、よかったです。三月の駅伝大会では、五年ながら第一区を走り区間二位でした。これを見るに、私達鍼灸マッサージ師も治療院内だけでなく、時には外に出て、その選手の環境や現場を見て回ることも大事なことだと思います。それを踏まえて、コンディショニングをし、心のケア(不安、恐れ、焦りなど)を第一にしたコーチングをして行きたいと思います。



第12回 東洋療法推進大会 in 新潟 「臨床発表」報告

報告者：小川 眞悟



平成25年10月20日(日)、第12回東洋療法推進大会in新潟にて、全鍼会員8名による臨床発表が行われました。

今回の臨床発表では神奈川県代表として、小田原師会の荒川隆先生が「スポーツ選手のコンディショニングとコーチングについて」のテーマで発表されています。その他、川崎師会の迫田優香先生が「訪問マッサージ受療者の実態と今後の取り組みについて」、藤沢師会の西村博志先生が「アンケート報告：鍼に関するイメージ調査」のテーマで発表されました。発表時間8分間という短い時間の中に、伝えたいことをまとめるという作業は大変なご苦労があったかと思いますが、日頃の業務の忙しい中、ご協力ありがとうございました。来年度の岡山大会でも、神奈鍼から多くの発表者を出せるよう、皆様のご協力を宜しくお願い致します。



10月13日（日）の東洋療法推進大会において伊勢山会長が3・11東日本大震災における義援金活動及びボランティア活動の功績により杉田全鍼会長より表彰されました。



? 神奈鍼 Q & A !

神奈鍼に届いたご質問と、回答です。

Q. 先日、師会長さん達と話していて浮かんだ素朴な疑問について投稿させていただきます。

「なぜ鍼灸マッサージ師の団体は、医師会や薬剤師会のように統一しない（できない）のか？」という事です。私は新米単位師会長で、会員にメリットを感じてもらうために試行錯誤しています。会の目的である「鍼灸マッサージ師の身分確立・地位向上」や「関係団体との協調」「生涯研修事業」などがしっかりと行われる事が会員の利益になると思えますが、鍼灸マッサージ師の団体が1つにまとまっていない事がそれを阻害してはいないでしょうか。

例えば、無資格者対策に安心のマークを作って会員に提示させたところで、全鍼師会内だけの話で、一般にはほとんど認知されていません。また、行政や政治家・関係団体等と話をするにも、鍼灸マッサージ師の団体が一つでない事のデメリットは大きいと推測されます。さらに、全国大会の学術発表などを見ても、失礼ながら単独では難しいのではないかというレベルです。（自分のものも含めてです）

有資格者の人数が増えているのに反比例して入会者の数は減っていると聞きますが、こういう事も入会に二の足を踏む要因になっているのではないのでしょうか。

私などは単純に、全鍼・日鍼・日マ・日盲・鍼灸学会・学校協会などを一つにして、鍼灸部会・マッサージ部会・学術部会・盲人部会・学校関係部会などを作れば、資金的にも数の力からも対外的な活動がしやすくなり、学術

的なものの質もあがるなど会員にとって大きなメリットがあると思うのですが、それを上回るデメリットあるいは困難な要因があるのでしょうか。

他の先生方や執行部のお考えがお聞きできれば幸いです。

尚、この問題について既に議論されているようでしたら、経緯をご存知の方お教え願います。

鎌倉逗葉鍼灸マッサージ師会 益田 尚

A. 業界はなぜひとつになれないのか

私たちの関係業界は、(公社)全日本鍼灸マッサージ師会(全鍼師会)、(公社)日本鍼灸師会(日鍼会)、(公社)日本あん摩マッサージ指圧師会(日マ会)、(社福)日本盲人会連合(日盲連)の4団体です。この業が国の施策によって視覚障害者に対して盲学校などを中心に全国で60以上の教育機関で職業教育を行っているところから日盲連が加わっています。

団体はそれぞれに目指すところがあり、たとえば全鍼師会は鍼灸マを総合的に考えていますし、日鍼会は鍼灸の単独立法を目指しています。しかしそれぞれの団体はお互いに協力できるところは協力し、業界の発展と社会に対する仕事への理解と啓蒙を続けています。

副会長 組織部長 小澤 繁之

◎益田先生のご質問は多くの会員が感じていることと思ひ皆様方の代表意見としてとりあげさせていただきました。

小沢先生ご回答ありがとうございます。



鳥インフルエンザが怖くて…

当院通院中の女性80歳「先生最近お肌のハリがないんです。」「夏風邪でお粥ばかり食べていたの
でタンパク質が足りないんだと思います。鶏肉なども食べてください。」「先生 鶏肉に触ると鳥イ
ンフルエンザに感染するんじゃないですか。半年以上前から鶏肉は買ってません。」「鳥インフルエ
ンザは生きた鳥からは感染りますが鶏肉からは感染りません。コラーゲンも取れるので鶏肉を食べ
たほうがいいですよ。」「じゃあ今日さっそく買って帰ります。」

この話を当院のスタッフにしたところ「わたしも感染るとおもっていました。」という返事でした。
誤解されてる方が多いようですね。まさか会員の皆様の中にはいらっしやらないですよ？

ペンネーム 京一さん

編集後記

今回の141号会報は、有意義な情報をタイムリーに提供するため発行を一ヶ月繰り上げさせ
ていただきました。また、140号記念特集号は皆様のお役に立ちましたでしょうか。待合室に
おいて患者様とのコミュニケーションのツールとして活用していただけると幸いです。なお
今会報から厚生部のお知らせ(ご結婚おめでとうございます・ご出産おめでとうございます)
を個人情報保護のため休止いたしました。掲載をご希望される方は年度末の会報に掲載致し
ますので神奈鍼事務所迄ご一報ください。

編集者：広報部長 知久 京子

社団法人 神奈川県鍼灸マッサージ師会 〒231-0065 神奈川県横浜市中区宮川町 2-55 ルリエ横浜宮川町 304
TEL.045-242-7790 FAX.045-242-7791 E-mail: kanasin@apricot.ocn.ne.jp

医学部教授の “健康特等席”

世界初の画期的“快温器”
「ながら健康法」

カラダがホントに喜ぶ
あたたかさ

- 製品名 健康特等席 (KT-700)
- 電圧 AC100V ●消費電力 710W

製造元

HEALTATH
株式会社 西淀マーク製作所



大阪市立大学医学部
産学連携製品

入会者名簿 (会報第139号以降)

師会名	会員番号	氏名	入会年月	師会名	会員番号	氏名	入会年月
中郡	4372	東将孝	H25年05月	浜鍼	4392	香妻正一	H25年06月
浜鍼	4374	齋藤佑菜	H25年05月	藤沢	4393	太田弘信	H25年06月
鎌倉逗葉	4375	石井禎一	H25年05月	藤沢	4394	仙洞田祐樹	H25年07月
川崎	4376	草野萌実	H25年04月	浜鍼	4395	丸山志津夫	H25年06月
足柄上	4377	佐野一誠	H25年05月	藤沢	4396	疋田泰三	H25年06月
足柄上	4378	山本裕太	H25年05月	浜鍼	4397	蛭名弘	H25年06月
厚木	4379	長岐早織	H25年05月	浜鍼	4398	久和康一	H25年07月
厚木	4380	長岐勝美	H25年05月	浜鍼	4399	橋本桃子	H25年06月
藤沢	4381	山路裕	H25年05月	浜鍼	4400	小林節也	H25年07月
浜鍼	4382	豊田真由美	H25年05月	藤沢	4401	石川治美	H25年07月
浜鍼	4383	遠藤ゆかり	H25年05月	小田原	4402	関初子	H25年07月
藤沢	4384	酒井弘治	H25年06月	小田原	4403	平栗永士	H25年07月
浜鍼	4385	北越遼太郎	H25年06月	藤沢	4404	笠原華七	H25年07月
浜鍼	4386	安川達也	H25年05月	川崎	4405	和知雅彦	H25年08月
浜鍼	4387	山岸賢人	H25年06月	浜鍼	4406	曹永潤	H25年09月
浜鍼	4388	中村知佳	H25年06月	川崎	4407	知花翼	H25年09月
浜鍼	4389	中山恵	H25年05月	中郡	4408	井上真智子	H25年09月
浜鍼	4390	伊藤純	H25年06月	浜鍼	4409	小山哲也	H25年10月
鎌倉逗葉	4391	高森春奈	H25年06月	茅ヶ崎寒川	4410	川村文治	H25年10月

退会者名簿 (会報第139号以降)

師会名	氏名	退会年月	師会名	氏名	退会年月
浜鍼	加藤陽介	H25年04月	横須賀三浦	高橋満	H25年07月
浜鍼	赤瀬美紀	H25年04月	大和	三好成彦	H25年07月
浜鍼	青山竹延	H25年04月	浜鍼	濱野宏子	H25年07月
浜鍼	斉藤温子	H25年04月	浜鍼	櫻田紋菜	H25年07月
浜鍼	鈴木清美	H25年04月	川崎	松浦宏治	H25年07月
川崎	荒井芳隆	H25年04月	浜鍼	平野洋三	H25年07月
浜鍼	小林寛基	H25年05月	浜鍼	金子孝雅	H25年07月
茅ヶ崎寒川	佐藤五郎	H25年05月	浜鍼	杉原勇理恵	H25年07月
相模原	長谷川雄三	H25年05月	川崎	和久井慧子	H25年08月
浜鍼	草間章吉	H25年05月	川崎	香川剛	H25年08月
浜鍼	松元榮子	H25年05月	浜鍼	吉川公隆	H25年08月
川崎	伊桜敏明	H25年05月	浜鍼	外間元康	H25年08月
横須賀三浦	天野貴昭	H25年05月	浜鍼	池田雅裕	H25年08月
浜鍼	長野夕子	H25年05月	鎌倉逗葉	金野優子	H25年08月
浜鍼	小菅史泰	H25年05月	浜鍼	盛昭光	H25年08月
平塚	北村規	H25年05月	秦野	渋谷昇治	H25年08月
小田原	大沼睦	H25年05月	浜鍼	氏田勝栄	H25年08月
浜鍼	原田和典	H25年05月	相模原	中出満	H25年08月
平塚	田中勝男	H25年05月	浜鍼	大古田一弘	H25年09月
大和	伊藤薫	H25年05月	浜鍼	村上玉紀	H25年09月
川崎	佐藤光徳	H25年05月	浜鍼	永江寿子	H25年09月
浜鍼	浦上佳樹	H25年05月	川崎	桑田誠	H25年09月
浜鍼	牛尼玄理	H25年05月	厚木	長谷川み江子	H25年09月
浜鍼	長友崇	H25年06月	小田原	星崎里美	H25年09月
浜鍼	橋本伸子	H25年07月	川崎	櫻田優	H25年10月

